

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究名】

乳がん化学療法誘発性悪心・嘔吐に対するオランザピンの至適服用時間に関する検討

【研究機関】愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科学

【研究責任者】亀井 義明(愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科学 講師)

### 【目的・意義】

本研究では、愛媛大学医学部附属病院で乳がんアンストラサイクリン系抗がん剤治療(AC療法、dose-dense AC療法、FEC療法、EC療法)が行われ、かつオランザピンを内服した患者さんを対象に、内服のタイミングによってオランザピンによる吐き気や嘔吐の予防効果に違いがあるのかどうか検討する研究を行うことにしました。

### 【研究方法】

・対象患者:2017年7月～2019年2月の間に愛媛大学医学部附属病院で乳がんアンストラサイクリン系抗がん剤治療を少なくとも1コース以上行い、標準制吐療法に加えオランザピンの内服加療を受けた患者さん

調査方法:電子カルテ(IBM)を用いた後方視的調査

調査項目:年齢、性別、体表面積、body mass index (BMI)、stageなどの患者さんの背景因子および抗がん剤治療1コース目治療開始から5日間の期間における悪心、嘔吐、救済治療の有無や使用頻度、副作用など

### 【研究期間】

2019年3月1日～2020年7月31日

### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科学 村上朱里

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科学 講師 亀井 義明

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号:089-960-5327